

別表第 1

学部・学科	人材の養成に関する目的	学生に修得させるべき能力等の教育目標
社会学部	現代の社会における諸課題を解決でき、未来に向かっての洞察的能力を養う多様かつ最新の専門知識・技術を修得するとともに、広く深い教養及び総合的な判断能力を持った優しさと温かみに満ち克己心に富む有為な人材を育成する。	最新の専門知識や技術を修得することにより、主体的に課題認識ができ、解決策を考え実施し、その結果を客観的に評価し改善できる実践力の修得。
人間心理学科	心理学、臨床心理学、カウンセリングに関する教育・研究を深め、専門知識と実践力を有し、真の人間を理解することができる人材を育成する。	心理学の見方・手法の修得。 カウンセリングの知識・手法の修得。
現代社会学科	日々の生活、余暇、社会貢献、環境保全活動等、社会の多様な活動を実地体験を重視して学び、より良い生活を提案しうる「生活力」のある人材を育成する。	専門知識（文化人類学、社会学、観光学、環境学等）の修得。 現場に飛び出す実践力、調査力の養成。
経営社会学科	グローバル化と情報技術の進歩等をもたらすビジネス環境の急激な変化に対応しつつ、時代に適合した新しい経営理念や実務スキルを身につけた人材を育成する。	創造的なアイデアと実行力の養成。 販売、営業、財務、経営スキルの修得。 新規ビジネスの創造、スポーツビジネス等、ビジネス最前線で活躍できる応用力の養成。
メディアコミュニケーション学部	現代の多様化するメディア環境の中にあつて、満ち溢れる情報を「正確に判断・選別しうる能力」と「的確に伝える能力」を養い、新しい時代を豊かに生き抜く人材を育成する。	溢れる情報を「正確にとらえ、的確に伝える」能力の修得。言語、映像、音声の統合されたメディアコミュニケーション及び社会的関係性の全様を理解し、発信する能力の修得。
マス・コミュニケーション学科	マスコミ媒体を中心とした情報の送り手として、溢れる情報を「正確にとらえ、的確に伝える」能力を養い、新しい国際化時代のコミュニケーション活動を担い、国内のみならず、国際的分野をも含む諸機関で活躍できる人材を育成する。	社会人としての教養の上に、激動する現代社会に対応できる能力の修得。マスコミに関する専門性を身につけ、溢れる情報を「正確にとらえ、的確に伝える」能力の修得。
情報文化学科	グローバル化する現代社会において、進化するメディア環境のなか、ICT・言語を媒介としたコミュニケーション・スキルを持ち、溢れる情報を「正確にとらえ、的確に伝える」能力を持つ人材を育成する。	情報技術（システム設計技術、Webアプリケーション技術等）の修得。 国際語としての英語を媒介としたコミュニケーション能力の修得。
こどもコミュニケーション学科	多様化し複雑化する人間関係やメディア環境において、子どもの成長過程を見据え健全な成長を導くために、必要な知識と実践力を持った専門性と溢れる情報を「正確にとらえ、的確に伝える」コミュニケーション能力を備え、子ども、家庭、学校、地域、職域その他の社会的関係性を踏まえ、相互に協力しつつ地域の子どもの子育て支援に貢献し続けることのできる人材を育成する。	溢れる情報を「正確にとらえ、的確に伝える」コミュニケーション能力を持ち、質の高い実践ができる能力の修得。地域の子どもの子育て支援について理解、実践できる能力の修得。探求力を持ち、学びを継続する意欲を持ち続け、生涯に渡る人間形成を通じて、福祉・教育・保育等の様々な分野の発展に寄与できる能力の修得。